

審査基準

テナントビルの省CO2促進事業 審査基準

ZEB実現に向けた先進的省エネルギー建築物実証事業 審査基準

中小規模老人福祉施設事業 審査基準

鉄・軌道関連施設事業 審査基準

バルクリース 審査基準

テナントビルの省CO2促進事業 審査項目

審査項目	配点	審査基準
ア. 本補助事業の目的に照らした内容の妥当性	10	・事業の内容が本事業の趣旨に照らして妥当か。
イ. 二酸化炭素排出削減量が多いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減量の大きさにより採点する。
ウ. 二酸化炭素削減率が高いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減率の大きさにより採点する。
エ. 二酸化炭素削減手法として費用対効果が高いこと	10	・事業によって削減される年間のCO2削減量の直接効果（CO2 1tを削減するために必要なイニシャルコスト）により採点する。
オ. 二酸化炭素削減効果の算出方法の妥当性	5	・削減効果の算出方法の明確さや考え方の妥当性により採点する。
カ. モデル的性格を有し、他の事業者等への波及効果が多いこと	10	・補助事業のモデル性及び期待される他の事業者への波及効果の見通しにより採点する。
キ. グリーンリース等の内容	15	・グリーンリース契約等の内容
ク. 事業の実施体制の妥当性	5	・実施体制について、施工管理や経理等の体制の妥当性について採点する。
ケ. 資金計画の妥当性	5	・補助事業を円滑に実施するための資金計画の妥当性により採点する。
コ. 財政的基盤	10	・補助対象設備の管理にあたり、流動比率により採点する。 ・自己資本比率にて採点する。
サ. L2tech認証商品である	10	・L2tech認証商品である
合計	100	

ZEB実現に向けた先進的省エネルギー建築物実証事業 審査項目

審査項目	配点	審査基準
ア. 本補助事業の目的に照らした内容の妥当性	10	・事業の内容が本事業の趣旨に照らして妥当か。
イ. 二酸化炭素排出削減量が多いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減量の大きさにより採点する。
ウ. 二酸化炭素削減手法として費用対効果が高いこと	20	・事業によって削減される年間のCO2削減量の直接効果（CO2 1tを削減するために必要なイニシャルコスト）により採点する。
エ. ZEB達成度について	20	・ZEBの達成度について採点する。
オ. 建物外皮性能について	5	・建物外皮性能による削減率について採点する。
カ. モデル的性格を有し、他の事業者等への波及効果が多いこと	15	・補助事業のモデル性及び期待される他の事業者への波及効果の見通しにより採点する。
キ. 事業の実施体制の妥当性	5	・実施体制について、施工管理や経理等の体制の妥当性について採点する。
ク. 資金計画の妥当性	5	・補助事業を円滑に実施するための資金計画の妥当性により採点する。
ケ. 財政的基盤	10	・補助対象設備の管理にあたり、流動比率により採点する。 ・自己資本比率にて採点する。
合計	100	

中小規模老人福祉施設事業 審査項目

審査項目	配点	審査基準
ア. 本補助事業の目的に照らした内容の妥当性	10	・事業の改修工事内容が本事業の趣旨に照らして妥当か。
イ. 公共性が高く資金回収・利益を期待することが困難であること	15	・補助事業の公益性、資金回収期間、ランニングコスト等
ウ. モデル的性格を有し、他の事業者等への波及効果が大きいこと	10	・補助事業のモデル性及び期待される他の事業者への波及効果の見通しにより採点する。
エ. 二酸化炭素排出削減量が多いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減量の大きさにより採点する。
オ. 二酸化炭素削減率が高いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減率の大きさにより採点する。
カ. 二酸化炭素削減手法として費用対効果が高いこと	10	・事業によって削減される年間のCO2削減量の直接効果（CO2 1tを削減するために必要なイニシャルコスト）により採点する。
キ. 二酸化炭素削減効果の算出方法の妥当性	5	・削減効果の算出方法の明確さや考え方の妥当性により採点する。
ク. 事業の実施体制の妥当性	5	・実施体制について、施工管理、導入後の管理や経理等の体制の妥当性について採点する。
ケ. 資金計画の妥当性	5	・補助事業を円滑に実施するための資金計画の妥当性により採点する。
コ. 財政的基盤	10	・補助対象設備の管理にあたり、流動比率により採点する。 ・自己資本比率にて採点する。
サ. L2tech認証商品である	10	・L2tech認証商品である
合計	100	

鉄・軌道関連施設事業 審査項目

審査項目	配点	審査基準
ア. 本補助事業の目的に照らした内容の妥当性	5	・事業の改修工事内容が本事業の趣旨に照らして妥当か。
イ. 公共性が高く資金回収・利益を期待することが困難であること	9	・補助事業の公益性、資金回収期間、ランニングコスト等
ウ. モデル的性格を有し、他の事業者等への波及効果が大きいこと	6	・補助事業のモデル性及び期待される他の事業者への波及効果の見通しにより採点する。
エ. 二酸化炭素排出削減量が多いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減量の大きさにより採点する。
オ. 二酸化炭素削減率が高いこと	10	・事業によって削減される年間CO2削減率の大きさにより採点する。
カ. 二酸化炭素削減手法として費用対効果が高いこと	10	・事業によって削減される年間のCO2削減量の直接効果（CO2 1tを削減するために必要なイニシャルコスト）により採点する。
キ. 二酸化炭素削減効果の算出方法の妥当性	5	・削減効果の算出方法の明確さや考え方の妥当性により採点する。
ク. 事業の実施体制の妥当性	5	・実施体制について、施工管理、導入後の管理や経理等の体制の妥当性について採点する。
ケ. 資金計画の妥当性	5	・補助事業を円滑に実施するための資金計画の妥当性により採点する。
コ. 財政的基盤	10	・補助対象設備の管理にあたり、流動比率により採点する。（5点） ・自己資本比率にて採点する。（5点）
サ. 導入する設備の災害等非常時における効果	5	・導入する設備の災害等非常時における効果について採点する。
シ. 低炭素化に資する環境対策を行っている	5	・過去及び現在における低炭素化に資する環境対策を行っている
ス. 地域鉄道事業者である	5	・地域鉄道事業者である。
セ. L2tech認証商品である	10	・L2tech認証商品である
合計	100	

バルクリース 審査項目

審査項目	配点	審査基準
ア. 事業計画の妥当性 ＜事業計画＞ 【現状把握調査】 【改修効果の分析】	10	・現状把握調査や改修効果の分析に関する妥当性により採点する。
イ. バルクリースによるコスト削減効果の妥当性 ＜事業計画＞ 【バルクリースによるコスト削減効果】	5	・バルクリースを活用した設備及び工事費等のコスト削減効果、リース予定期間、投資回収に要する年数等についての調査及び算定方法の妥当性により採点する。
ウ. 調査結果に基づく事業化プロセスの妥当性 ＜事業計画＞ 【本調査事業の結果に基づく事業化の展望】	5	・設備改修計画からバルクリースによる低炭素設備導入支援への進め方の妥当性により採点する。
エ. CO2削減効果の算出 ＜事業の効果・有望性＞ 【調査の対象となる施設のエネルギー消費量】 【CO2削減コスト】	20	・導入する設備等によるCO2削減量の直接効果（CO2を1 t削減するために必要なイニシャルコスト）により採点する。 ・削減効果の算定方法の明確さや考え方の妥当性により採点する。
オ. 実施体制の妥当性 ＜事業の実施体制＞ 【事業の実施体制】	10	・業務を実施するための内・外部の協力体制の妥当性により採点する。
カ. 他の助成制度への申請 ＜関連する事業についての他の助成制度の申請について＞	5	・地方公共団体の施設における積極的な低炭素化のため、他の助成制度の申請などを実施している場合は加点する。
キ. 実施スケジュールの妥当性	5	・補助事業を実施する上でのスケジュールの妥当性により採点する。
ク. 事業実施に伴う地域経済への効果 ＜事業計画＞ 【設備・工事の発注】	10	・設備及び改修工事の発注の方法に関して、地域経済への波及効果の見通しにより採点する。
ケ. モデル・実証的性格及び他事業への波及効果 ＜今後の計画＞	10	・本業務の成果に基づく今後の地域づくりへの波及効果や展開性、その他どのような効果が得られるかについて、記載内容により採点する。
コ. 資金計画の妥当性 ＜資金計画＞	10	・補助事業を円滑に実施するための資金計画の妥当性により採点する。
サ. L2tech認証商品である	10	・L2tech認証商品である
合計	100	